

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月13日

計画の名称	さがみ縦貫道路周辺の都市基盤整備（第Ⅱ期）												
計画の期間	平成31年度～令和02年度（2年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	神奈川県, 平塚市, 藤沢市												
計画の目標	さがみ縦貫道路周辺のスプロール化の改善を図るとともに、都市の活力を支える産業用地や住宅用地を創出する都市基盤整備を図り、環境と共生したまちづくりを進める。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,634	A	1,634	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H31当初)	中間目標値	最終目標値 (R2末)
1	・土地区画整理事業地内における都市計画道路および都市計画道路間を結ぶ区画道路（W=12m以上）の整備率を61%（H31）から78%（R2）とする。 都市計画道路等整備率（%）＝都市計画道路及び都市計画道路間を結ぶ区画道路（W=12m以上）の面積に対する、整備済区間の面積 ＝都市計画道路及び都市計画道路間を結ぶ区画道路（W=12m以上）の整備済区間の面積（m2）÷同対象面積（m2）×100	61%	%	78%
2	・土地区画整理事業における都市計画道路等の整備効果を活かし、産業用地の使用収益開始率を67%（H31）から77%（R2）とする。 産業用地の使用収益開始率（%）＝土地区画整理事業において創出される産業用地面積に対する、産業用地使用収益開始面積 ＝土地区画整理事業において創出される産業用地の使用収益開始面積（ha）÷同全面積（ha）×100	67%	%	77%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																				
基幹事業 (大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H31	R02	R03	R04	R05				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	街路	一般	神奈川県	間接	平塚市ツインシティ大神地区土地 区画整理組合	区画	改築	ツインシティ大神地区 (都) ツインシティ大神線)	道路築造 L=566m 交通広場 A=2,011㎡	平塚市	■	■				218	-	-	
	A01-002	街路	一般	平塚市	間接	平塚市ツインシティ大神地区土地 区画整理組合	区画	改築	(区) 18.5-1号線 (W=18.5m) 他	道路築造 L=675m	平塚市	■	■				39	-	-	
	A01-003	街路	一般	神奈川県	間接	厚木市森の里東土地区 画整理組合	区画	改築	都市計画道路3・5・9下古沢森の里青山線他	道路築造 L=672m	厚木市	■	■				617	-	-	
	A01-004	街路	一般	藤沢市	直接	藤沢市	区画	改築	北部第二 (三地区) ((都) 石川下土棚線外)	道路築造 L=277m	藤沢市	■	■				760	-	-	
										小計							1,634			

A 基幹事業																				
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		種別	種別	対象	間接							H31	R02	R03	R04	R05				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
											合計						1,634			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

策定主体にて実施

事後評価の実施時期

令和5年3月

公表の方法

神奈川県県土整備局都市部都市整備課webページで掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

さがみ縦貫道路周辺のスプロール化の改善を図るとともに、都市の活力を支える産業用地や住宅用地を創出する都市基盤整備を図り、環境と共生したまちづくりを進めることができた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

対象地区内にて、新たに5社の企業が操業開始、6社が建築着工した。

○特記事項（今後の方針等）

今後は、計画的な移転・街路築造を行い、関連する工事及び占用者とも綿密に工事を行うことでまちづくりを推進する。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	78%
	最終実績値	76%
他工事との関連及び関係機関との調整や、権利者との調整に不測の期間を要したため都市計画道路の整備が滞った。		
2	最終目標値	77%
	最終実績値	76%
権利者との交渉が難航し、仮換地先の整備に着手できず、使用収益の開始が滞った。		

(参考様式)

社会資本総合整備計画 (道路事業) 参考図面

計画の名称	さがみ縦貫道路周辺の都市基盤整備 (第Ⅱ期)	交付団体	神奈川県、平塚市、藤沢市
計画の期間	平成31年度 ~ 令和2年度 (2年間)		

